



## Cisco ボイスメールポートウィザード

オプションのソフトウェアである Cisco Unity は、Cisco Unified コミュニケーション ソリューションの一環として利用され、ユーザがコールに応答できないときに、ボイス メッセージ機能を提供します。この章では、ボイス メッセージ システムに対して、Cisco Unified CallManager で Cisco ボイスメール ポートの追加と設定を行うために必要な手順について説明します。

Cisco Unity の設定の詳細については、『*Cisco Unified CallManager 4.0 Integration Guide*』を参照してください。

ボイス メッセージと Cisco Unified CallManager との接続性についての詳細については、『*Cisco Unified CallManager システム ガイド*』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」を参照してください。

Cisco ボイスメールポートウィザードツールを使用すると、Cisco Unified CallManager 管理者は、Cisco ボイスメール サーバに関連付けられているポートを Cisco Unified CallManager データベースに迅速に追加または削除できます。次の項では、この手順について説明します。

## 新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加

Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用して、新規の Cisco ボイスメール サーバとポートを Cisco Unified CallManager データベースに追加する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

Cisco ボイスメール ポート ウィザードには、ボイスメール ポート用の一連の連続した電話番号が必要です。ボイスメール パイロット番号とそれに続く番号が使用可能であることを確認します。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポートウィザード] の順に選択します。

Cisco ボイスメール ポートが存在しない場合は、追加する Cisco ボイスメール サーバの名前を入力し、[ステップ 5](#)に進みます。ポートが存在する場合は、[ステップ 2](#)に進んでください。

**ステップ 2** [新規 Cisco ボイスメールサーバの作成とポートの追加] を選択します。

**ステップ 3** [次へ] をクリックします。

**ステップ 4** Cisco ボイスメール サーバの名前を入力します。



(注) Cisco Unity では、この名前が Unity Telephony Integration Manager (UTIM) コンフィギュレーションファイルの名前（デフォルトは CiscoUM-VI1）と一致している必要があります。このウィザードでは、ポートを追加する際、自動的に <ポート番号> のサフィックスが付加されます。

**ステップ 5** [次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポート] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** ドロップダウン リスト ボックスから、追加するポート数を選択します。

**ステップ 7** [次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールデバイス情報] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 8** 適切な設定値を入力します ([表 63-1](#) を参照)。これらの設定値がすべての新規ポートに適用されます。

**表 63-1** ボイスメール ポート ウィザードのデバイス情報の設定値

フィールド	説明
[説明]	デバイスの目的を入力します。
[デバイスプール]	デフォルト値 [Default] または定義されたデバイス プールを選択します。

表 63-1 ボイスメール ポート ウィザードのデバイス情報の設定値

フィールド	説明
[コーリングサーチスペース]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[ロケーション (Location)]	<p>デフォルト値 [Hub_None] または定義されたロケーションを選択します。</p> <p>ロケーションは、このデバイスとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションを [Hub_None] に設定すると、そのロケーションの機能では、このデバイスが消費する帯域幅を把握しません。</p>
[デバイスセキュリティモード (Device Security Mode)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、ボイスメール サーバ ポートに適用するセキュリティ モードを選択します。ここに表示されるオプションは、データベースであらかじめ定義されています。デフォルト値は [選択されていません] です。</p> <p>ボイスメール サーバのセキュリティを設定する方法の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
[AAR コーリングサーチスペース]	<p>Automated Alternate Routing (AAR; 自動代替ルーティング) の実行時にデバイスが使用するコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、帯域幅不足によってコールがブロックされないように、収集された (発信) 番号をルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p>

**ステップ 9** [次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメール電話番号] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 10** 新規 Cisco ボイスメール サーバの電話番号設定を入力します (表 63-2 を参照)。

表 63-2 ボイスメール ポート ウィザードの電話番号の設定値

フィールド	説明
[開始電話番号]	Cisco ボイスメール サーバにアクセスするためにコールする番号を入力します。新しいポートはそれぞれ、次に使用可能な電話番号を受け取ります。

表 63-2 ボイスメール ポート ウィザードの電話番号の設定値 (続き)

フィールド	説明
[パーティション (Partition)]	<p>この一連の電話番号が属するパーティションを選択します。パーティションを使用しない場合は、[&lt;None&gt;] を選択してください。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリングサーチスペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。</p> <p> (注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウンリストボックスから、適切なコーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリングサーチスペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するコーリングサーチスペースの数を設定できます。</p> <p> (注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[AAR グループ (AAR Group)]	<p>このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を [&lt;None&gt;] にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。</p>
[内線発信者 ID 表示 (Internal Caller ID Display)]	<p>この回線へのコールが行われるときに、発信側の電話機に表示されるテキストを指定します。</p>
[内線発信者 ID 表示 (Internal Caller ID Display、ASCII 形式)]	<p>この回線へのコールが行われるときに、発信側の電話機に表示されるテキストを ASCII 形式で指定します。</p>
[外線番号マスク (External Number Mask)]	<p>外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。デバイスの電話番号を表すには、X を使用します。</p>

ステップ 11 [次へ] をクリックします。

これらの電話番号を回線グループに追加するかどうかをたずねるウィンドウが表示されます。

**ステップ 12** 次の作業のいずれかを選択します。

- 電話番号を新規回線グループに追加する場合、**ステップ 13** に進みます。
- 電話番号を既存の回線グループに追加する場合、**ステップ 15** に進みます。
- 電話番号を回線グループにあとで追加する場合、**ステップ 17** に進みます。

**ステップ 13** [はい。新規の回線グループに電話番号を追加します。] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。

**ステップ 14** [回線グループ] ウィンドウに新規回線グループの名前を入力し、[次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco ボイスメール ポートウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

**ステップ 18** に進みます。

**ステップ 15** [はい。既存の回線グループに電話番号を追加します。] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

**ステップ 16** [回線グループ] ウィンドウで、[回線グループ名] ドロップダウン リストボックスから回線グループを選択し、[次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco ボイスメール ポートウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

**ステップ 18** に進みます。

**ステップ 17** [いいえ。後から追加します。] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco ボイスメール ポートウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

**ステップ 18** この情報が正しい場合は、[終了] をクリックして、新しいポートを追加します。

表示された情報に誤りがある場合は、[戻る] ボタンをクリックして、その情報を編集します。または [キャンセル] をクリックして、ポートを追加せずに終了します。

**ステップ 19** Cisco ボイスメール ポート ウィザードが指定した新規ボイスメール ポートの追加を終了した後に、[Cisco ボイスメールポートウィザードの結果] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウによって、これらの新規ボイスメール ポートを使用する前に完了しなければならないその他のステップがわかります。

### 次の手順

メッセージ受信のインジケータ (MWI) デバイスをセットアップしたことを確認してください。詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」を参照してください。

### 追加情報

P.63-8 の「関連項目」を参照してください。

## 既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加

Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用して、ポートを既存の Cisco ボイスメール サーバに追加する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

Cisco ボイスメール ポート ウィザードには、ボイスメール ポート用の一連の連続した電話番号が必要です。ボイスメール パイロット番号とそれに続く番号が使用可能であることを確認します。

ボイスメール パイロット番号は、Cisco ボイスメール サーバにアクセスするためにコールする番号を示します。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポートウィザード] の順に選択します。

**ステップ 2** [既存の Cisco ボイスメールサーバにポートを追加] を選択します。

**ステップ 3** [次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールサーバ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** ドロップダウン リスト ボックスから、既存の Cisco ボイスメール サーバ (パイロット番号) の名前を選択し、[次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポート] ウィンドウが表示され、現在設定されているポート数が示されます。

**ステップ 5** ドロップダウン リスト ボックスから、追加するポート数を選択し、[次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメール電話番号] ウィンドウでは、Cisco ボイスメール サーバへ追加したポートの設定情報を表示します。最後のポートに続く連続した電話番号が自動的に選択されます。また、Cisco ボイスメール パイロット電話番号と同じ [パーティション (Partition)] 設定値、[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] 設定値、表示に関する設定値、[AAR グループ (AAR Group)] 設定値、[外線番号マスク (External Number Mask)] 設定値が使用されます。[新規電話番号] フィールドに、別の範囲の電話番号を入力することができます。

**ステップ 6** ポート数を変更する必要がある場合は、[戻る] ボタンをクリックします。

**ステップ 7** [次へ] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

**ステップ 8** この情報が正しい場合は、**[終了]** をクリックして、新しいポートを追加します。

表示された情報に誤りがある場合は、**[戻る]** ボタンをクリックして、その情報を編集します。または **[キャンセル]** をクリックして、ポートを追加しないで終了します。

#### 追加情報

P.63-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除

Cisco ボイス メール ポート ウィザードを使用して既存の Cisco ボイスメール サーバからポートを削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** **[ボイスメール]** > **[Cisco ボイスメールポートウィザード]** の順に選択します。

**ステップ 2** **[既存の Cisco ボイスメールサーバからポートを削除]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

**[Cisco ボイスメールサーバ]** ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** ドロップダウン リスト ボックスから、既存の Cisco ボイスメール サーバ (パイロット番号) の名前を選択し、**[次へ]** をクリックします。

**[Cisco ボイスメールポート]** ウィンドウが表示され、現在設定されているポート数を示します。

**ステップ 4** ドロップダウン リスト ボックスから、削除するポート数を選択し、**[次へ]** をクリックします。

**[Cisco ボイスメールポートを削除する準備ができました]** という要約ウィンドウが表示されます。

削除するポートの情報が要約ウィンドウに表示されます。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、ポート番号と電話番号が連続するように自動的に更新します。

**ステップ 5** この情報が正しい場合は、**[終了]** をクリックして、選択されたポートを削除します。

表示された情報に誤りがある場合は、**[戻る]** ボタンをクリックして、その情報を編集します。または **[キャンセル]** をクリックして、ポートを削除しないで終了します。

#### 追加情報

P.63-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco ボイスメール ポート ウィザード \(P.63-1\)](#)
- [新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加 \(P.63-2\)](#)
- [既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加 \(P.63-6\)](#)
- [既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除 \(P.63-7\)](#)
- [メッセージ受信の設定 \(P.64-1\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」